

# ほ HOT<sup>ど</sup>SO<sup>そ</sup>SA<sup>う</sup>

匝瑳市  
社会福祉協議会

情報紙

2016 DEC

#15

## TOPIC

### 「買い物困難者の解決へ向けて」

**買**い物困難者とは、過疎化で近くの商店が廃業したり撤退した事により自力で買い物に行けなくなった方や足腰が弱くなって買い物に出かけられない人の事を指し、経済産業省の推計では全国700万人いると言われていています。匝瑳市における高齢者の方々等からも「近くにお店がない」、「遠くまで歩いて買い物に行けない」、「自分で選び買い物をしたいが宅配に頼る事しか出来ず、頼んだ事を忘れてしまったり楽しみがない」等といった意見を聞きます。

それに伴い、ニュース等でも多く聞かれるようになっていますが、高齢者の誤運転事故の増加も買い物等が困難になってきた結果と思われる。都市部のようにバスや電車といった公共交通機関が発達し元気で歩ければ80歳や90歳になっても車に乗りずに済み事故も減ると思われ。しかし、匝瑳市の現実には90歳になっても車に乗りたくないと思われ、生きて行く事が出来ません。昔は、まずは家族が支え、次に近所の方々の支え合いが多く見られましたが、昔とは違い家族関係や近所付き合いの変容が家族の在り方、人との付き合い方の多様化を生み出し、同一敷地内に家族が住んでいても支え合う事なく別世帯として生活している方が多くいます。この事について皆様はどのようにお感じになるでしょうか。

匝瑳市社会福祉協議会では、これらの「買い物困難者」の解消に向けて、本年度、まずは、地域の生活や買い物に関する実態調査を豊栄地区、豊和地区、飯高地区、共興地区、野栄地区（野田・栄区）社会福祉協議会のご尽力により実施させていただきました。

地域の生活や買い物に関する実態調査に関するアンケート結果を参考に地域で「雇用」や「買い物困難者の解消」、「その収益を地域の活性化のために使用する」等といった観点で地域の皆様と一緒に作り上げていく必要があると思われ。

「そんな事できるはずがない、夢物語だよ」と思われるかも知れませんが、しかし、来たる2025年問題はそこまで迫っています。確かに夢物語かも知れませんが、皆様と一緒に考え、動かない事には、これらの課題は解決出来ないと考えます。

# 市 社 協 の 情 報

## 相談日・相談内容

### 無料法律相談 (弁護士)

電話予約制です。(先着7名)  
相談日：月2回(月曜日) 13:00~  
※日程の詳細は「広報そうさ」または  
匝瑳市社協までご連絡ください。

### 金銭管理等に 関する相談 (日常生活自立支援事業)

対象：判断能力が不十分な方や  
体の自由がきかない方等  
内容：①福祉サービス利用に関するアドバイス  
②お金の出し入れのお手伝い  
③大切な書類や印鑑のお預かり。  
相談日：月曜日~金曜日 8:30~17:15

### 介護に関する 相談

対象：介護保険利用者又は介護が  
必要と思われる市民  
相談日：月曜日~金曜日 8:30~17:15  
※介護相談はご自宅に伺うことも可能です。

### 生活福祉資金 貸付相談

内容：生活福祉資金貸付制度とは低所得者や高齢者、障害者の生活を  
経済的に支えるとともに、その  
在宅福祉及び社会参加の促進を  
図ることを目的とした貸付制度です。  
相談日：月曜日~金曜日 8:30~17:15

### ボランティア 相談

内容：ボランティアに関する相談、紹介  
ボランティア保険加入受付 等  
相談日：月曜日~金曜日 8:30~17:15

## 在宅福祉サービス

### あんしん箱 の配付

あんしん箱とは、急な入院時  
に困らないように必要な日用品  
・緊急連絡カードなどを詰め込  
んでおける箱です。

また、あんしん箱は救急隊の方々が病院へ適切  
に搬送する・家族や近所の方へ速やかに連絡を行  
うために役立つ事ができます。高齢者や障がい  
者等を対象とし、無料配付で  
すので安心を備えるためにご  
近所の民生委員又は市社協ま  
でご連絡下さい。



### 車椅子の 無料貸出

匝瑳市社協では車椅子の無料貸  
出を行っています。



対象者：市内在住の方  
(※介護保険利用者については要相談)  
貸出期間：3ヶ月以内。貸出希望の方は事前に  
ご連絡を頂いた上、認印をご持参ください。

## 危機を乗り越える 日本国民のチカラ

7月12日から18日にかけて、被災地  
社協災害ボランティアセンター運営支  
援のため熊本県益城町に千葉県内の社  
会福祉協議会から5名職員が派遣さ  
れ、本会から1名が派遣されました。  
熊本地震において、益城町は4月14  
日と16日の二度にわたり震度7を観測  
し、県内でも最大の被害が生じました。  
さらに7月から大雨が続ぎ、水害も発  
生している状況でした。地震における  
死者は20名(震災関連死1名含む)、  
把握できた避難者は最も多い時で1万  
6千人を超え、指定避難所の他に車中  
泊やテントという厳しい避難生活を強  
いられました。震災から半年が経過し  
た現在でも町を歩くと道路沿いに崩れ  
た家が連なり、凄惨な光景に言葉がで  
ませんでした。

避難所支援など被災された方々にとっ  
て大きな力となり、初めは暗い表情を  
していた被災者も、ボランティア活動  
により片付いた家を見て、表情が晴れ  
生活再建に向けての小さな一歩を踏み  
出すことができていたようでした。倒  
壊の危険もありボランティアの手では  
片付けが難しい家も非常に多いよう  
ですが、震災直後に比べると被災され  
た町民からのボランティア依頼が減っ  
ており、さらなるニーズの掘り起し  
が今後の課題であるように感じました。  
震災から半年が経過し、最近ではニ  
ュースや新聞で被災地の情報を目にす  
る機会も少なくなりました。ただ、被  
災地では多くの方が先の見えない不安  
と闘っています。

本会としても、引き続き被災地に対  
する支援を考えると共に、本市におけ  
る災害時の対策についても考えていき  
たいと思います。がまたせ 熊本 〇〇  
「がまたせ」とは熊本弁で「がんばろう」。

## INFORMATION

### 熊本県益城町の様子



### 感謝

## あたたかいご寄付 ありがとうございます

- ▼匝瑳市仏教会 様
- ▼椎名 一夫 様
- ▼のさかカラオケ友の会
- ▼代表 野仲 哲二 様
- ▼そうさカラオケ友の会
- ▼代表 山崎 重信 様
- ▼千葉県退職公務員連盟
- ▼八咫支部 様(タオル寄付)
- ▼ルアナ・フラ
- ▼代表 高田 直子 様
- ▼千葉県民謡愛好連合会
- ▼代表 林 信一 様
- ▼カラオケ高安 様
- ▼下総匝瑳教区 布教師会 様
- ▼真言宗智山派
- ▼下総匝瑳教区寺院一同 様
- ▼三ツ葉歌謡会
- ▼代表 鈴木篤博 様
- ▼ほんまち通り商店街(よかつへ祭り)
- ▼多部田 徳也 様
- ▼匿名 4名 様
- ▼多くの方より食材等のご寄付  
を頂きました。